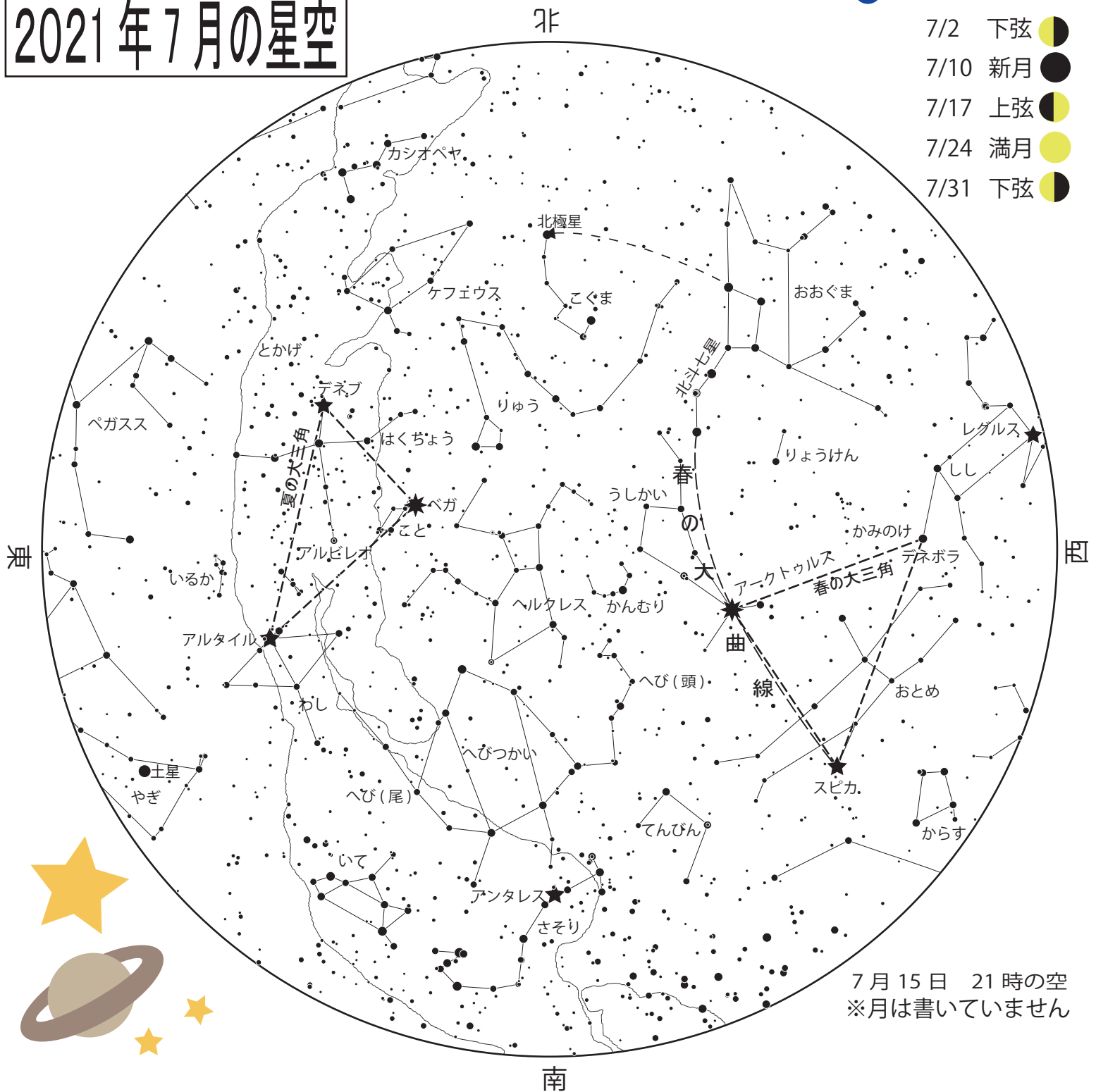


# 姫路で見る 2021年7月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 7/2 下弦 
- 7/10 新月 
- 7/17 上弦 
- 7/24 満月 
- 7/31 下弦 



7月15日 21時の空  
※月は書いていません

南

夏の星座が見頃を迎えています。南の空の低いところには、夏を代表する星座、さそり座が見えます。さそり座は1等星のアンタレスを目印に探すのがおすすめです。アンタレスは「火星の敵」という意味で、赤く輝いている星です。アンタレスから下(南)へ明るい星をたどると、釣り針のような形に星が並んでいます。この並びがさそり座のしっぽの部分です。また、七夕伝説の主演であるおりひめ星はこと座のベガ、ひこ星はわし座のアルタイルです。この2つの星とはくちょう座のデネブを結んでできるのが「夏の大三角」です。「夏の大三角」の中を天の川が流れています。天の川を南へとたどっていくと、さそり座にたどり着きます。天の川は無数の星の集まりで、私たちの住んでいる銀河を横から見たものです。この機会にじっくりと星空を眺めてみて下さい。

春の星座は西に傾きましたが、まだ見えています。北西の空に見える北斗七星の持ち手部分のカーブをのぼしていくと「春の大曲線」を描くことができます。春の1等星うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカを見つける目印です。アークトゥルスとスピカ、しし座のしっぽの星デネボラを結んでできるのが「春の大三角」です。

土星は7月中旬から8月中旬にかけてやぎ座を移動中です。月末には21時前に上るようになり観察しやすくなります。